

経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県宝塚市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	透I 訓ガ	救 臨 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
234,044	31,903	非該当	7：1	

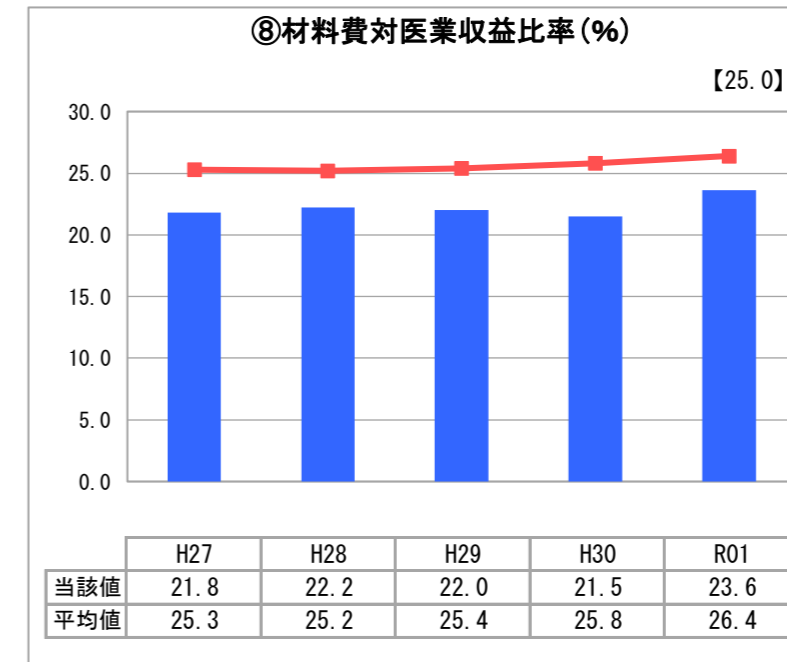
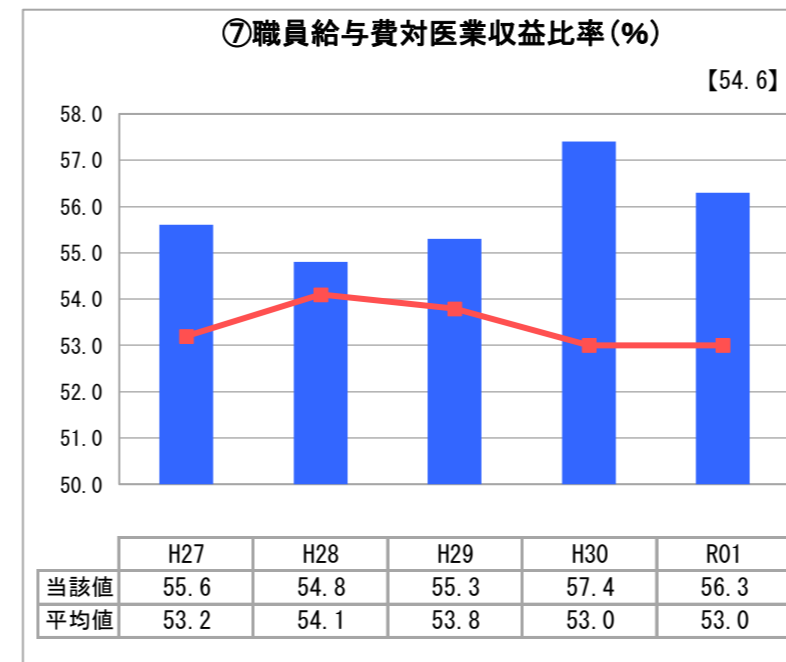
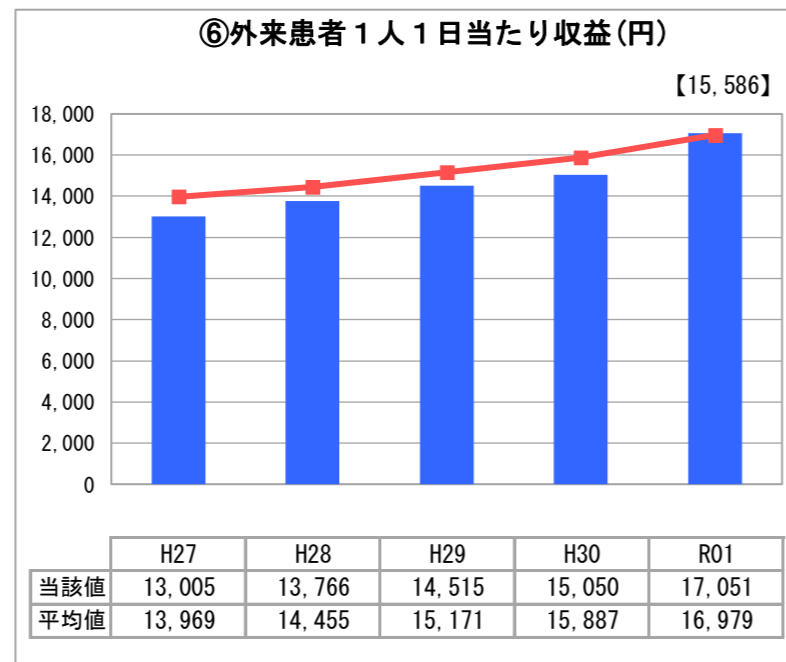
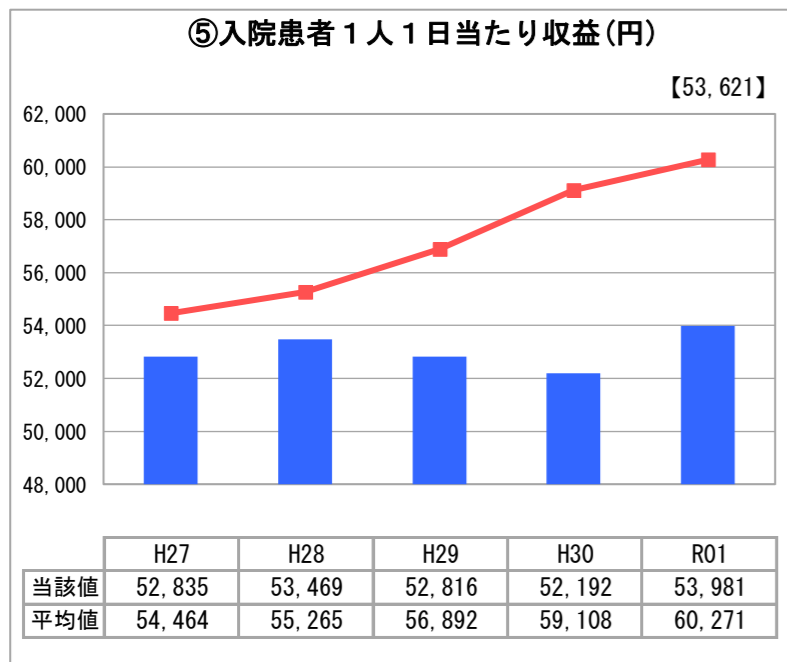
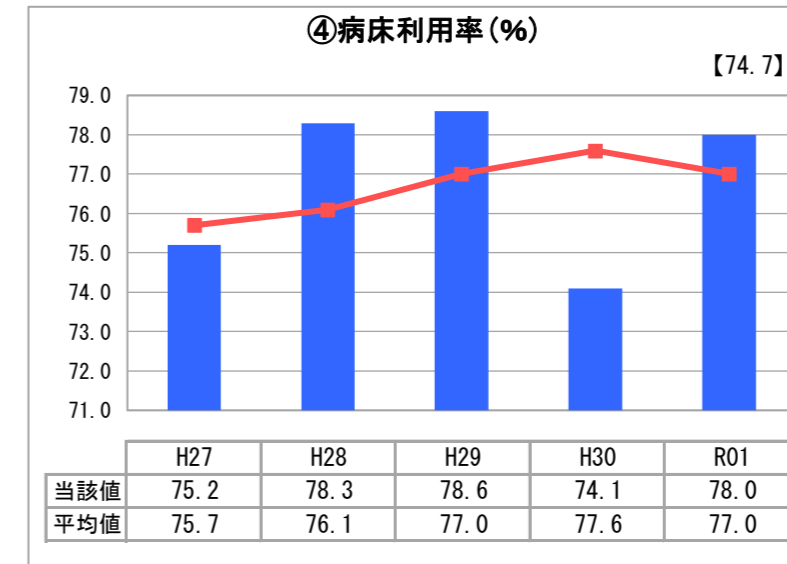
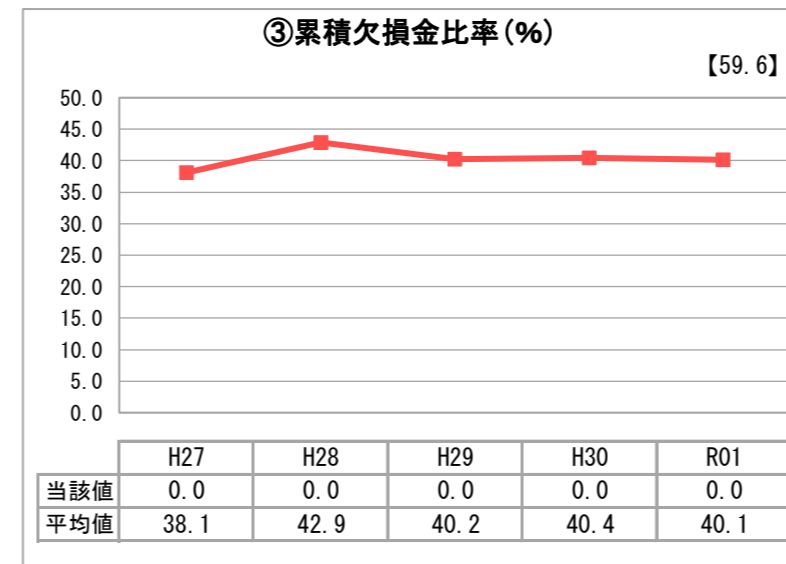
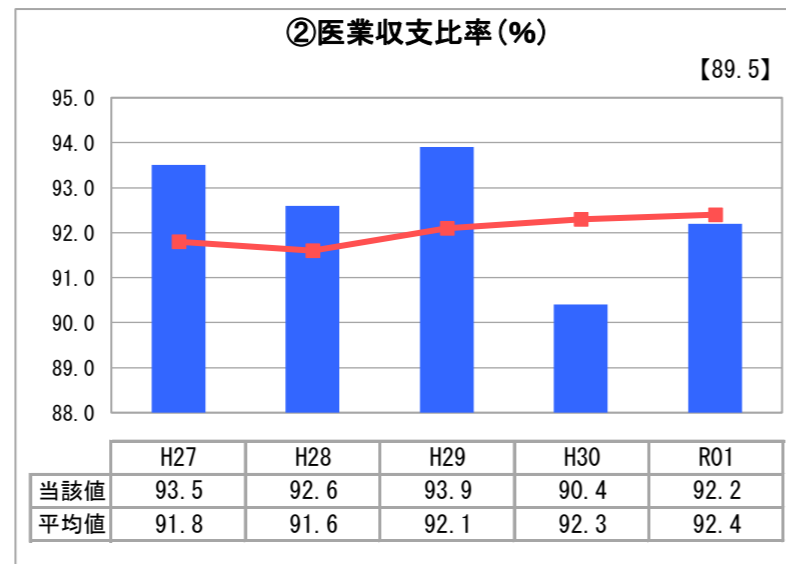
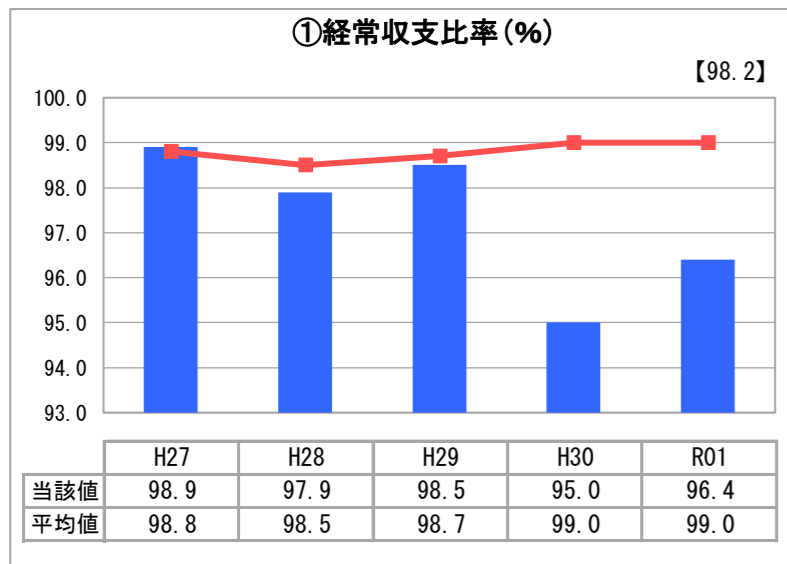
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

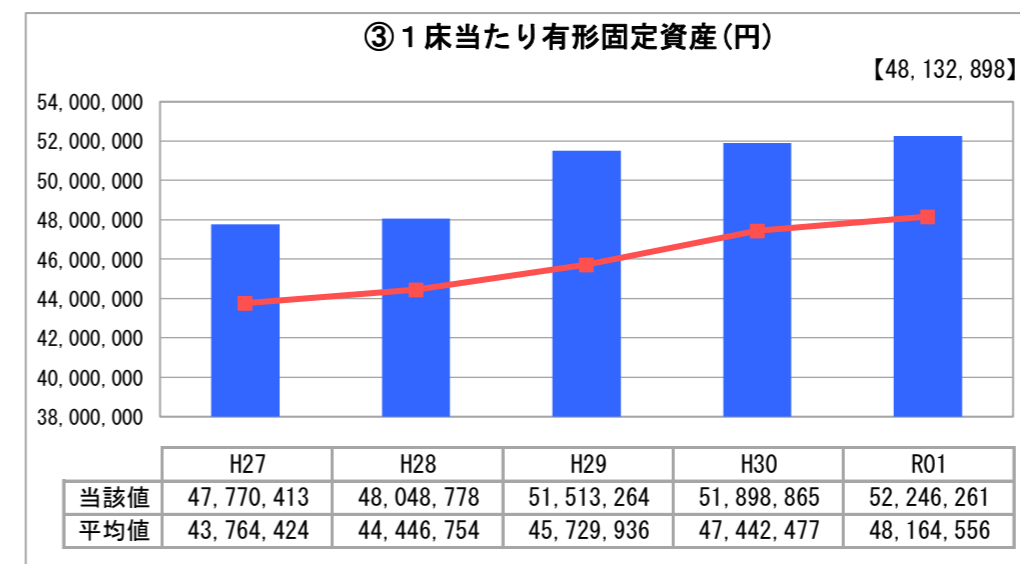
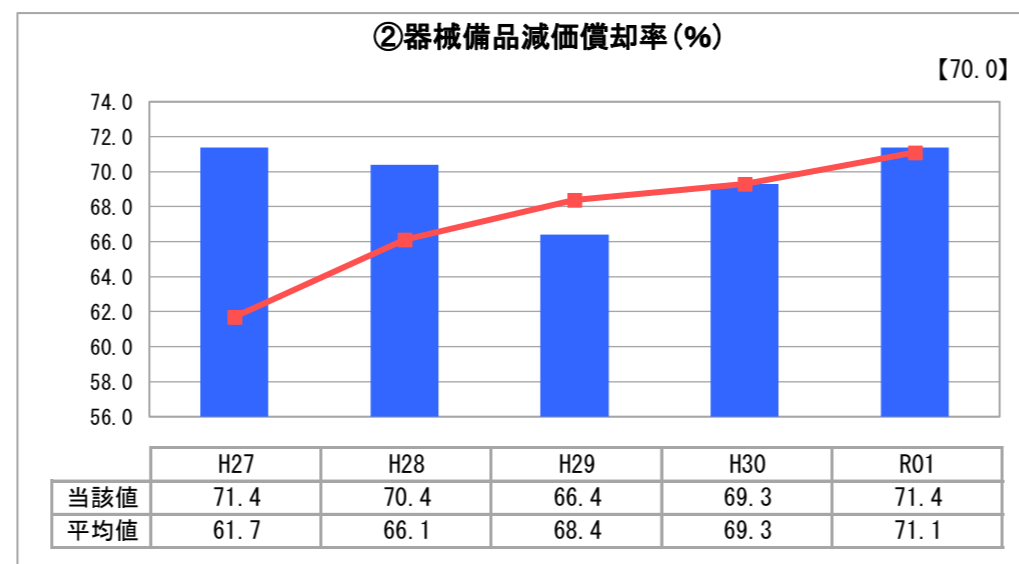
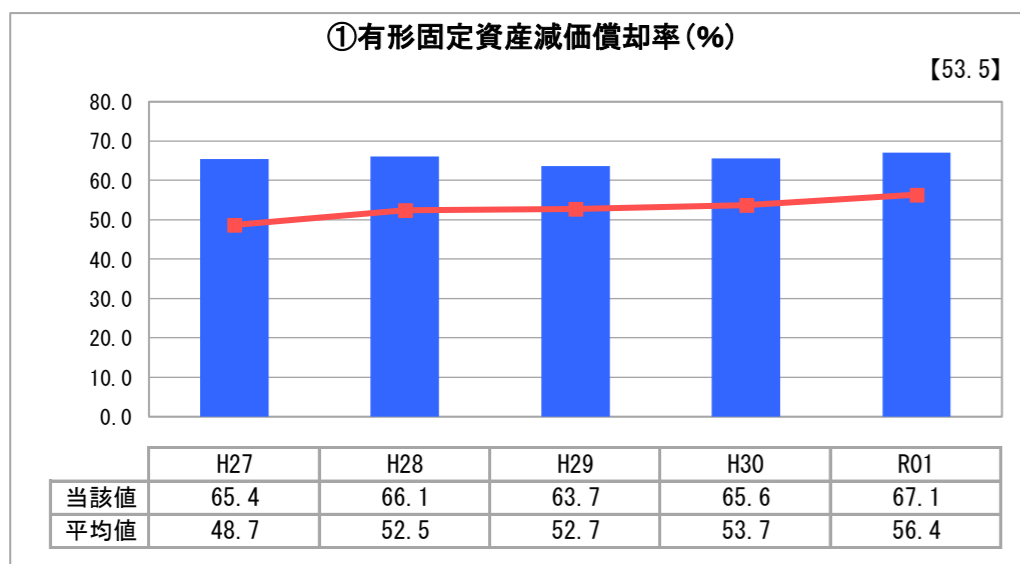
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
436	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	436
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
389	-	389

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

少子高齢化が進行するなか、市民が安心して暮らしていけるよう良質な急性期医療を提供し、救急受入体制とがん診療体制を提供しています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関と連携して医療資源を効率的に活用するとともに、5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）に対する医療需要の増加に対応しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

これまで②医業収支比率、③累積欠損比率、④病床利用率は、類似病院平均値を上回っていましたが、平成30年度は、医師の大量退職等の影響で、医業収益が減少したことから、これらの指標も含め各種比率が低下、悪化しました。しかし令和元年度は医師の確保に努め、入院収益、外来収益が増加した結果、経常収支比率が改善しました。

当院は、内科系の診療科が多いため⑧材料費対医業収益比率が類似病院平均値よりも低くなっています。地域医療支援病院として地域の医療機関と連携して医療資源を効率的に活用することで各種比率を向上し、①経常収支比率100%以上を目指します。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、S59年に竣工した病院開設当時の建物の減価償却が進んでいるため、平均よりも高くなっていると考えられます。近年竣工したがんセンターが加わり、平成29年度から一時的に比率は低下しています。

器械備品減価償却率は、老朽化した器械備品も多いため高くなっていると考えられますが、今後も計画的な更新を図っていく必要があります。

1床当たり有形固定資産が平均より高いのは、敷地面積及び床面積が類似病院より大きいこと、また、許可病床が過去の480床から減少していることが要因であると考えられます。

全体総括

地域医療支援病院としての役割を果たし、必要な医師の確保及び計画的に施設・器械備品を更新していくことで、経営の健全性・効率性の改善を目指します。